

ひろこ倶楽部だより

VOL.9

桜の季節が過ぎ、街には草花があふれています。晩春の日差しにキラキラと光る垂水の海を見るとほっとしますね。

第1回定例市会では、H16年度予算案が審議されました。

神戸市財政を取り巻く環境は、三位一体の改革などでさらに厳しい状況となっています。市政を「経営」と見て民営化などさらなる経営努力を要求する声が高まる一方、「指定管理者制度」(*1)導入等による市民へのサービスの悪化を危惧する意見が飛び交う中、予算案が可決されました。予算特別委員会では、「企画調整局」と「教育委員会」についての質問を担当いたしました。

児童虐待の一層身近な発見者となる学校での対応は?

神戸市会議員 川原田弘子
神戸市垂水区仲田3-1-8-202
電話&FAX 078-709-8998
Eメール happy@hiroko-club.com

質問：昨今、児童虐待のニュースがあとを絶ちません。なぜ、私たち大人は、あの子たちを守ってやれないのでしょうか？2000年に成立した「児童虐待防止法」では、学校の教職員やお医者さん等、児童の福祉に関連する人は、児童虐待を発見しやすい立場を自覚し、早期発見につとめることや、虐待を受けた児童を発見したものは速やかに通告しなければならない義務などが規定されています。一番身近な発見者は学校の先生であることが多く、先生の判断や行動は非常に重要になっています。しかし、虐待であるかどうかの判断は非常に難しい問題です。判断や早期発見に対しての学校の対処はどうなっていますか？また、今の学校のクラスは複雑な問題をたくさん抱えており、担任の先生がひとりで責任を追うのは大変です。学校としてみんなで対処できる仕組みが必要だと思いますが？

回答：子供は教師の前では保護者とよい関係であるかのようにふるまうこともあります。判断は難しいが複数の教諭の目で見ることで判断できる。また、4月の検診や日頃の服装、給食のようすなど、注意をしてみることで早期発見に努めている。教員は一番身近にいるが、通告を受けたあとは、「児童相談所」「警察」「区役所の保健部」「教育委員会」の4者が連携を取って対処することが大事である。

年金などの社会保障制度を高校で教えて！！

国民年金は4割の人が未納、特に若い世代が年金を納めなくなっている実態があります。納めなさいと強制するだけでなく、「70歳までの最低25年間、納めていないと一切もらえません。」という事実を、きちんと教育すべきと思います。税金や年金など、身近な問題として教育していくべきでは？

回答：高校教育の「公民」「政治経済」の中でちゃんと教育している。年金制度についても様々な制度についてディベートするなどしている。

再質問：「公民」「政治」の授業としてではなく、これから社会に出たとしたら給料がいくらで、どのように個人の生活を基本にした教育にしてほしい。

「いのちの大切さ」を語ってもらおう

腎臓移植を受けたあと、広報などの活動をされている知人が、高校で、腎臓移植を通じての「いのちの大切さ」について講演を行ったところ、たくさんの高校生が共感してくれたと伺いました。自殺やいじめなどが氾濫する中、消防士さんなど命の現場で働く人々や、命の大切さを身をもって経験した方々の語る言葉は重く、「いのちの大切さ」に気づくきっかけとなるのでは？

回答：すでにゲストティーチャーなどで消防士のほか、妊娠さんを呼んで子供が生まれてくる喜びを語ってもらったりしている。今後もいのちの大切さを実感できるようなことを学校で取り組んでいくべきと考えている。

LD・ADHD (*2) 等の支援教育について

LD・ADHD等の児童生徒を対象として、教員補助者の増員配置が上げられていますが、どういった効果が期待できますか？また、こうした子供たちの受け皿にフリースクールがありますが助成はできませんか？

回答：臨床心理学等を専攻する大学院生を教員補助者として既に配置している学校で、学習や行動面で効果が高かったという結果を得ており、今年度増員配置する。助成は難しいが、神出自然農園などの市の施設は利用してもらいたい。

王子動物園でインドゾウの赤ちゃんが生まれました

誕生日：H16.3.2

性別：メス

体重：誕生時 124kg

スイス出身の父マックとラトビア出身の母ズゼの間に生まれました。

ただいま人工保育で保育中です。



健康を楽しむまちづくりについて

市長は今後、医療産業都市構想の次のステップとして、健康をテーマとした「健康を楽しむまちづくり」に力を入れる方針と聞きます。がんセンターの誘致などぜひ取り組んでもらいたいですが、身近なところから、淡路島の断食道場などのような、神戸の立地を活かした滞在型の施設の誘致に取り組んでいっては？また、自殺者の増加やうつ病に悩む人が増える中、心の健康も重要。HAT神戸にできる「心のケアセンター」との、積極的な連携をとっていくべきでは？

回答：今年度は、「健康」をキーワードにした新戦略に取り組む。国では医療だけでなく、観光振興と兼ねた産業化を提案している。有馬温泉や六甲山などの景勝地ともあわせ、リラクゼーション施設の誘致により滞在型のしかけを検討していきたい。また、生活習慣病の専門家の先生を中心に「健康づくり支援システム」の委員会を設置し、その中で、個人の健診データ（本人同意が必要）を基に、ITを活用した科学的な生活改善プランを提供する「コンシェルジェサービス」などを検討している。一方、県の「心のケアセンター」は、PTSDなどの研究や情報発信など、全国初の拠点施設と聞いているが、まずは、死因の6割を占める生活習慣病の予防を中心に取り組みたい。

* 1 「指定管理者制度」とは？

地方自治法（第244条 公の施設）の改正によって、これまで、地方自治体や自治体の外郭団体など、公の機関にしか管理できなかった「公の施設」の管理・運営が、議会の承認等の手続きを経て「指定管理者」としての指定を受ければ、株式会社も含めた民間の機関にも可能となりました。「フルーツフラワーパーク」や「シーバル須磨」などの集客施設もあれば、児童館などの公共性の高い施設もあり、今後、対象となる施設の性質を十分に吟味をして、市の直営・社会福祉法人等の団体・民間会社等の選択を行っていくことになります。

* 2 「LD・ADHD」とは？

LD（学習障害）は、聞く・読む・話すなどのうち、特定の学習が困難な状態をいいいます。本を読むのに、どうしても行をとばしてしまうなどの例があります。ADHD（注意欠陥・多動性障害）は、集中力が極端に欠落していたり、時に衝動的な行動をとったりします。いずれも、知的発達に遅れはなく、障害の判断は専門家でないと非常に難しいと言われています。

* 3 ファイアウォールとは？

コンピュータ上の不法侵入を防ぐ装置です。



亀岡市のコミュニティバスに乗ってきました。定員19人の小型バスで1回100円。路線バスの行きかない狭い道路も回り、市民に好評のようでした。

神戸は住基ネット、大丈夫？

住基ネットは、国のプロジェクトですが、運営は地方自治体に任せられています。

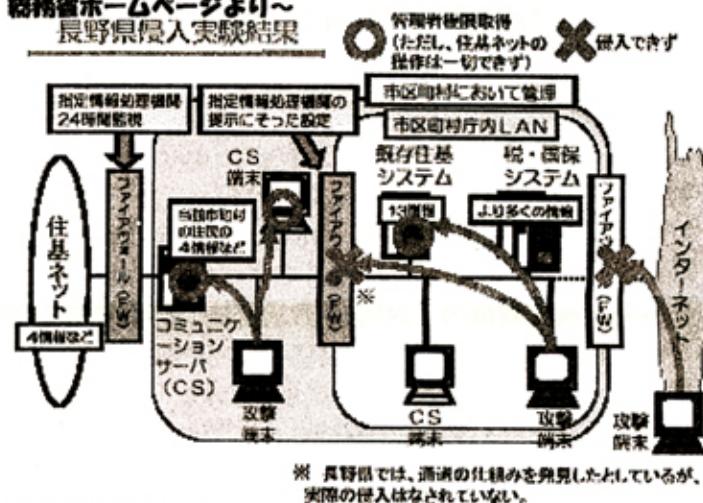
国民総背番号制への反発や個人情報の漏洩への危惧から物議を醸しだしている中、長野県での住基ネットの実験結果は、「危ない」という中間発表の報道ばかりが取り上げられました。その後、長野県の最終報告を受けて、総務省が、「インターネットからの侵入には完全に失敗していること」、「逆に自治体の運営する庁舎内のネットワークの管理の方が問題となる」という見解を発表していますがあまり報道されず、市民はとまどっています。

神戸市としても運営の方針を打ち出し、市民にわかりやすく説明をすべきと考えます。

神戸の住基ネットの運営は、長野と比べどうなっていますか？神戸の住基ネットは大丈夫ですか？

回答：既存住基システムは、国の住基ネットサーバーとつなぐようになったが、ファイアウォール*3 を介して接続している。税や年金、国保などのシステムは、これらとはつながず単独で使っている。いずれもインターネットからは分離している。住基ネットサーバーは、専用カードで管理された部屋に、鍵付きラックに入れられ設置されている。長野のケースはこうした鍵まで開けて入っており、実験のやり方自体が問題。また、神戸市では不正アクセスがあったとみられた場合は、市独自の判断でネットワーク切り離しも行い、セキュリティに万全を期している。今後、6月から予定の国税の電子申告など、住基カードを介した各種電子申請が可能となってくる。神戸市においても電子市役所の実現に向け活用策など検討していきたい。

総務省ホームページより～ 長野県侵入実験結果



神戸市での住基ネット接続

